



NATIONAL CONSTITUTION CENTER

ようこそ

アメリカ憲法センターへ 歴史あるフィラデルフィアのインデペンデンス・モール(INDEPENDENCE MALL)!

このガイドでは、当館でぜひ体験していただきたいおすすめのスポットやアクティビティ10選をご紹介します。

このガイドに沿って、充実したひとときをお過ごしください。

1階



南北戦争と再建期： 自由と平等のための戦い

- 1861年2月22日、大統領就任式へ向かう途中でフィラデルフィアに立ち寄ったエイブラハム・リンカーン(Abraham Lincoln)が、インデペンデンス・ホール(Independence Hall)で掲げた新しい旗の物語とその意義について学びましょう。
- 世界恐慌の時代に、かつて奴隷であった人々の人生の物語を後世に残すため、公共事業促進局(Works Progress Administration)によって録音された貴重な記録をお聞きください。1865年6月19日のLaura Smalleyによる解放の証言などを通じて、解放前後にアフリカ系アメリカ人が直面した経験や苦難について理解を深めましょう。

合衆国憲法修正第19条： 女性たちはいかにして参政権を勝ち取ったか

- 修正第19条が可決される数十年も前から、アメリカの女性たちは参政権を求めて戦っていたのです。当時の投票箱をよく観察し、参政権運動家たちがいつどこで戦いを繰り広げたのかを知り、彼女たちが勝ち取った勝利について学びましょう。
- 1913年3月3日にタイムスリップして、ワシントンD.C.で参政権を求めて行進した女性たちの列に加わってみましょう。タスキを身につけ、参政権支持の横断幕を掲げ、行列の一員として写真を撮りましょう。



キメル・センター・フォー・ザ・パフォーミング・アーツ(THE SIDNEY KIMMEL THEATER)

「フリーダム・ライジング(Freedom Rising)」の公演をぜひお見逃しなく。建国から現在に至るまでの「私たち人民(We the People)」の物語を描いた、感動的な17分間の体験です。



2階

独立宣言署名者の間 (SIGNERS' HALL)

- ジョージ・ワシントン (George Washington)、ベンジャミン・フランクリン (Benjamin Franklin)、アレクサンダー・ハミルトン (Alexander Hamilton) といった憲法署名の立役者たちと自撮り写真を撮りましょう。その後、代表団に加わって憲法に署名するか、あるいは提案に反対した3人の異議者 (Elbridge Gerry、George Mason、Edmund Randolph) のように謹んで棄権することもできます。



国家統治

- 障害を持つアメリカ人法 (ADA) が成立した日に Justin Dart Jr. が使用していた車椅子をご覧ください。Dart は障害を持つアメリカ人法 (ADA) の成立に向けて組織化と請願を行い、1990年7月26日にジョージ・H・W・ブッシュ (George H.W. Bush) 大統領が同法に署名した際には、その隣に座りました。

合衆国憲法修正第1条 (THE FIRST AMENDMENT)

- 学生の言論の自由をめぐる画期的な裁判「ティンカー対デモイン独立学区事件 (Tinker v. Des Moines)」の象徴である、有名な腕章の物語を紐解いてみましょう。この事件は、Mary Beth Tinker らがベトナム戦争への無言の抗議として黒い腕章をつけて登校し、そのことで停学処分を受けたことが発端です。1969年、最高裁判所は、生徒も教師も「生徒や教師は、校門をくぐった瞬間に、憲法上の権利 (言論・表現の自由) を放棄するわけではない」との判決を下しました。

NATIONAL CONSTITUTION CENTER



アメリカの建国

- アメリカ合衆国憲法の最も希少な印刷版の1つをご覧ください。1787年に John Dunlap と David Claypoole によって印刷されたこの文書は、現存する国家の統治文書の公式コピー14部のうちの1つです。

KENNETH C. GRIFFIN グレート・ホール・オーバールック (GREAT HALL OVERLOOK)

- 当センターのケネス・C・グリフィン・グレート・ホール・オーバールック (Kenneth C. Griffin Great Hall Overlook) に、幅100フィート以上で記された修正第1条の45語をお読みください。信教の自由、言論の自由、出版の自由、集会の自由、請願権といった基本的自由を守る合衆国憲法修正第1条は、アメリカの立憲民主主義の柱です。
- 米国の56の州と準州を象徴する旗が掲げられているオーバールック (Overlook) で、ご自身の州の旗を見つけたり、新しいお気に入りのデザインを選んだりし